

関住協はマンション実践講座「駐車場の安全・防犯対策を考える」を前に、会員管理組合を対象に「安全・防犯対策」についてアンケートを実施。回答した34のうち「駐車場がない」の2つを除いて集約しました。

まず駐車場の種類（複数回答あり）について、「平地」が29で、機械式（2・3段）が5、「機械式でない2階建て」が1でした。次に「駐車場使用者しか入場できないようにしているか」は「特に制限していない」が22と圧倒的で、「ロボットゲート等で入場制限している」はわずか9でした。

次に、防犯対策として「駐車場に防犯カメラを設置している」では「設置している」22で、「設置していない」は10でした。「防犯カメラの運用規則などを制定しているか」については、「制定している」10、「制定していない」16でした。

その他の防犯対策について記述してもらったところ、以下のような内容でした。

「以前はダミーの防犯カメラを設置していたが、大規模修理の際に取り外した。新たに設置の予定をしている」「管理員の巡回点検（平日、1日3回）」「違法駐車の張り紙を行なう。警察の見回りをお願いしている」「防犯カメラ以外に人感センサーを設置している。防犯カメラより効果があるよう思う」「警備員による巡回（夜間・休日）。管理人による巡回（平日昼間）」など。

これまでに盗難などの被害があったかについては、「あった」が18と多く、「なかった」7、「わからない」が7でした。

盗難以外に困った問題を記述してもらったところ、下記のような回答がありました。

「車同士の接触事故」「落葉、樹液がかかる」「子どものボールが車にあたることが、何度も起き、トラップった。駐車場横の木が原因の車の汚れ」「夏場などに若者が深夜にたむろする姿が見られる」「（車の）クーラーの音がうるさい（駐車したまま、車中でスマホなどを見ている）」など。

具体的な安全対策について聞いたところ、「速度制限15km/H以下の看板設置。カーブミラー11カ所設置」「自治会と協議の結果、路上駐車の排除による見通しの確保、敷地内での徐行運転などが挙げられ、具体的対策として、① 駐車禁止のコーン設置② 出入口に看板設置」などがありました。その一方、「費用の面で防犯カメラの設置がなかなか進まないのが頭痛の種」という声もありました。